

Seismic sensor SISMO-ET303



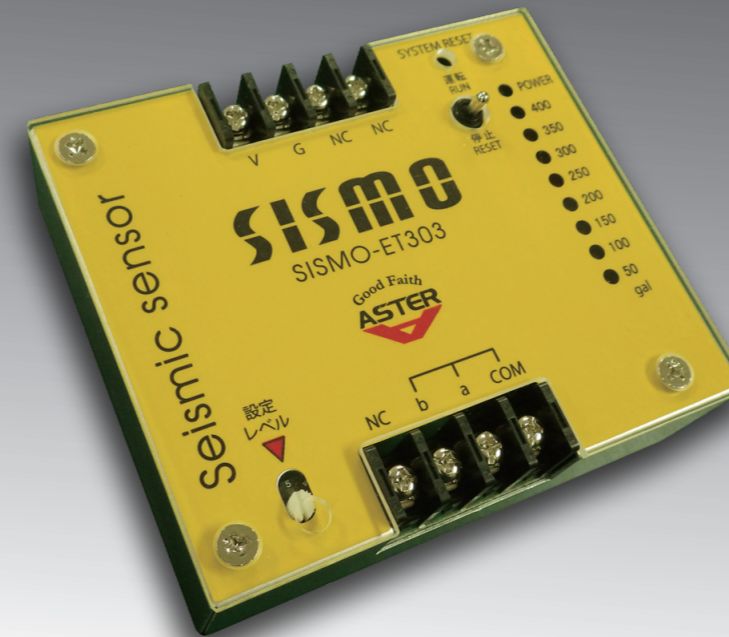
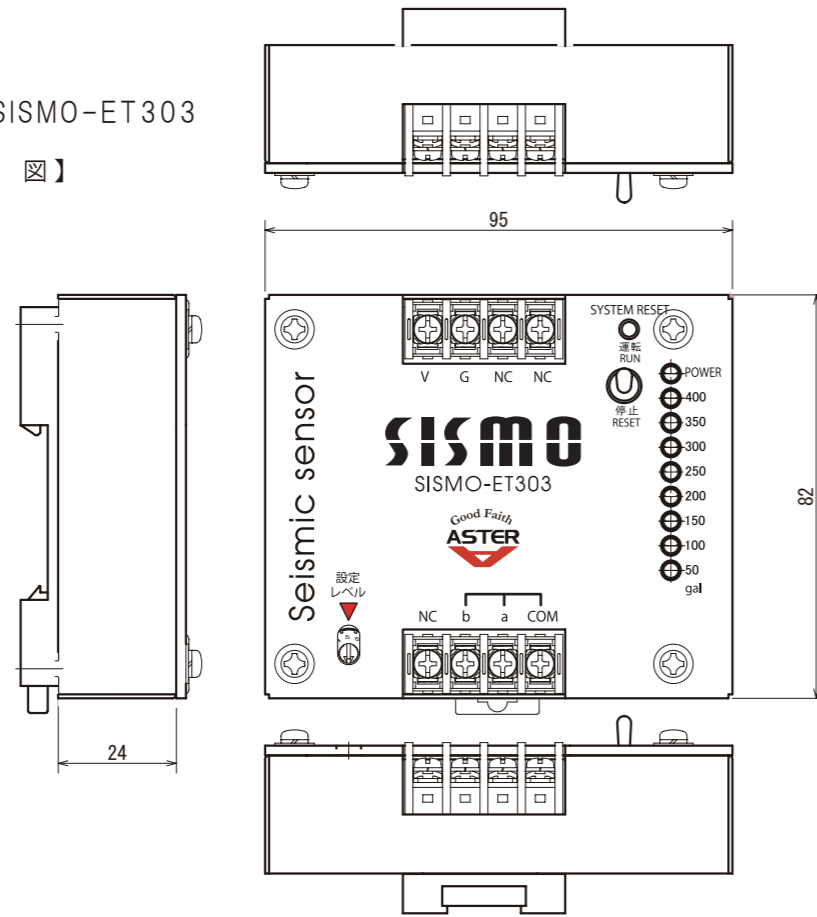
地震感震器 SISMO-ET303

地震対策は、万全ですか？

あなたの設備、地震で止まりますか？

地震感震器 SISMO-ET303

【概要図】



Seismic sensor



地震感震器 シスモ
SISMO-ET303
地震動のレベルを
9段階で設定可能

*****注意事項*****

- ※当社の感震器は全ての地震で停止することを保証しておりません。
地震波によっては感震しないこともあります。
 - ※直下型地震等で短い時間に急激に振動する地震には対応しておりません。
(誤動作防止の為)
 - 当製品のご使用にあたり、以下の使用目的には使用しないしないでください。
特に医療機器など直接人命に関わる用途には使用しないで下さい。
 - ※人体保護を目的とする装置への使用
※輸送機器への直接制御(停止装置など)
※航空機、宇宙機器、原子力関連制御機器への使用
 - 当製品は地震計ではありません。TV・ラジオで放送される気象庁の地震震度階級と異なります。任意の震度に設定しても地震の特性によって作動しないことがあります。
- *****
- ・第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。
 - ・本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - ・当社が関与しない接続機器、意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

昨今は地震の起こらないと言われている地域でも、震度5以上の地震が発生しており、国・公共施設・民間企業・生産工場等で災害対策が急務となっています。各企業・生産工場で機械や設備などを操作している作業者の安全確保や、稼働している工場内の高額な設備を地震時には安全に停止させなければなりません。地震時に、安全に止まる感震器を設備や機械に取り付けていることは、その設備の地震に対する安全性を向上させ、企業の信頼度や付加価値を上げられます。

震度2	電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。
震度3	棚にある食器類が音を立てることがある。
震度4	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が倒れることがある。
震度5弱	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。
震度5強	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸がはずれる。

気象庁が発表している震度階級関連解説表によると、次のように震度階級別の屋内の状況が予測されています。

Seismic sensor

地震感震器

SISMO-ET303

【特 徴】

従来型の感震器の多くは、マグネット式や鉄球式の為、装置全体を水平に保たなければ正常な動作ができず、設置時に必ず水平器で調整する必要がありました。

また設置場所を水平に保たなければならない為、取り付けの設備自身の傾斜を確認する必要があり、固定方法が限定されました。

しかしこの地震感震器には3方向加速度センサーが組み込まれており取り付け時の状態を原点としてセットする為、水平器での調整が必要ありません。設置場所が経年によって傾いた場合でも、原点を自動で補正する機能を装備しており、水平の保守点検の必要がありません。



地震感震器 SISMO-ET303

設定レベルのスイッチが見やすくなりました。

地震感震器 SISMO-ET303

【取扱説明】

- ① DC9~30Vの外部電源を端子台のV(+)/G(-)端子に接続します。リレー接点はCOM、a、b端子になりますので、機器に接続します。
- ② 配線が済みしたら、スイッチを運転の方向に倒します。設定加速度以上の地震でリレーが作動します。作動すると400galと350galのLEDが交互に1秒間隔で点滅を行います。
- ③ 作動したリレーを解除するには、スイッチを停止の位置に倒します。リレーが解除されたことを確認し、再度運転側に倒して下さい。

【震度階級と最大加速度】

震度階級	最大加速度(gal)
震度4	40~ 110程度
震度5弱	110~ 240程度
震度5強	240~ 520程度
震度6弱	520~ 830程度
震度6強	830~1,500程度
震度7	1,500程度~

※厳密には対応させることはできませんが、概ね対応する値です。
参考資料：「国土交通省河川・道路等施設の地震計ネットワーク」によるデータを利用したものである。

この地震感震器には3方向の地震の力を合成する処理がされており、垂直、水平の方向性などの影響を受けません。

この地震感震器は、加速度センサーを使用しロータリスイッチにより、検知する地震動のレベルを9段階で設定できるようになっているタイプの感度設定型感震器です。

震度約3で動作させたり、震度約5で動作させたりと用途に合わせる事が可能です。

また、制御盤のDINレールにそのまま取り付けることができ、リレーなどと一緒に配置することができます。既存設備の空きスペースに追加することができます。

【作動仕様】

設定加速度： 50,100,150,200,250,300,350,400,450galの9種類

設定加速度以上の地震が数秒間続くとリレーが作動します。

地震感震器ユニット付近を通過する車などの振動や、ボールを当てられたりする振動、人為的な衝撃には反応しない構造になっております。

【標準仕様】

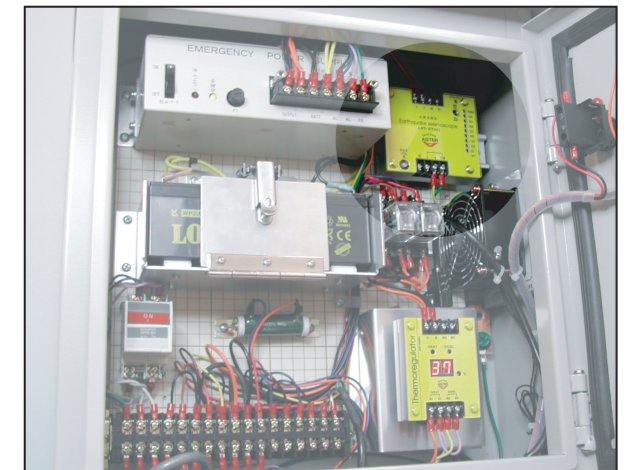
名称：地震感震器ユニット
型番：SISMO-ET303

【構造】

作動方式：3軸加速度センサー型
外形寸法：W95×D82×H35mm
重量：160g
取付：DINレール
端子台仕様：端子ネジ M3 (8P)

【電気仕様】

入力電源：DC9~30V/0.1A
出力仕様：無電圧接点1a,1b AC125V/0.4A DC30V/2.0A



▲SISMO-ET303設置例